



SMART MANUFACTURING TECHNOLOGY JAPAN株式会社

会社説明

SMT (Smart Manufacturing Technology) は、2002年にイギリスのノッティンガムで設立された、パワートレインおよびトランスミッション設計・開発分野におけるグローバルリーダーです。創業以来、四半世紀近くにわたり、世界の主要なOEMやTier 1サプライヤーと協力し、高度なエンジニアリングソリューションを提供し続けてきました。現在では100名以上の専門エンジニアを抱える国際的な企業に成長し、自動車をはじめ、大型商用車、建設機械、航空宇宙、エネルギー（風力発電等）、船舶、鉄道など、多岐にわたる産業分野で事業を展開しています。日本国内においても「SMT JAPAN株式会社」（神奈川県川崎市）を通じて、日本の技術者に対してダイレクトかつ迅速なサポートを提供しています。

同社の中核をなすのは、独自に開発した次世代CAEシミュレーションソフトウェア「MASTA」です。MASTAは、トランスミッション、ギアボックス、電動モータ、さらには電動化パワートレインシステム全体の設計、解析、最適化を、直感的で単一のインターフェース上で実現できる業界唯一の先進的なソフトウェアです。エンジニアはこのツールを活用することで、ギアの耐久性評価、NVH（騒音・振動・ハッシュネス）の低減、システム全体の効率化、自動化された設計の最適化などを高精度かつ短期間で実行することが可能になります。これにより、開発サイクルの短縮やプロトタイプ試作コストの大幅な削減が実現し、顧客は浮いたリソースや専門知識を自社の「新たなイノベーションの創出」という最も重要なミッションに集中させることができます。

また、SMTは単なるソフトウェアベンダーにとどまらず、最前線で活躍するエンジニアリング・コンサルティング集団としての顔も持っています。豊富な経験とノウハウを持つエンジニア陣が、顧客の抱える複雑な課題に対して直接サポートし、電動化に伴う新たなギアボックスの課題解決や、風力タービンギアボックスなどの特殊な駆動系の設計支援まで幅広く手掛けています。

「お客様の成功を支援し、常に革新を追求して付加価値を高める」という企業理念のもと、品質に一切妥協しない姿勢を貫いています。充実した技術サポート体制、定期的なオンライントレーニング、顧客との協調を重視したパートナーシップにより、SMTは今後も電動化や次世代モビリティの発展を根底から支え、パワートレイン開発の未来を形作る革新的なソリューションを提供し続けます。

会社概要

本社所在地

イギリス

事業内容

ギアシステム、トランスミッション、電動モータおよび電動化パワートレインの設計・解析・最適化を行う次世代CAEシミュレーションソフトウェア「MASTA」の開発・提供。ならびに、各種産業における高度なエンジニアリング・コンサルティングサービスの提供。自動車、大型商用車、建設機械、航空宇宙、エネルギー（風力タービン等）、船舶、鉄道など幅広い産業分野へソリューションを展開しています。

代表取締役

ユース・ウーリー

設立年

2016年4月（日本法人）

資本金

5.1 百万円

従業員数

1 - 10人

URL

<https://www.smartmt.com/ja/smt-smart-manufacturing-technology/>

オフィス情報

メインオフィス

〒2220033

神奈川県 横浜市港北区 新横浜 3 - 2 - 6

VORT新横浜 7A